

# 適正技術とこれからの社会

—インドネシアでの排水処理・バイオマスエネルギー事業の実践をふまえて—

環境・資源、貧困と格差、深刻さを増す紛争とテロの問題など  
 今日の世界は、解決が容易ではないさまざまな問題に直面しています。  
 問題を技術の面から考えると  
 効率・規模・速度等の増大～拡大をめざしてきた  
 これまでの近代的な科学技術体系の単純な延長上に  
 地球の未来を描くことはむずかしいのではないのでしょうか。

適正技術は、概して、それぞれの地域(とりわけ「途上国」)の  
 社会的・経済的あるいは文化的条件に即し、住民が参加しやすく  
 そこにおけるニーズを効果的に満たす技術を指しています。  
 ところが、適正技術には、その概念が生まれた当初から  
 近代科学技術がもたらす環境・資源や労働疎外などの  
 さまざまな問題を念頭に、それらの問題を乗り越える  
 代替技術という意味もこめられていました。

このセミナーでは、インドネシアでの排水処理や  
 バイオマスエネルギー分野の実践をふまえて  
 適正技術とこれからの望ましい社会のあり方について考えます。



安価で運転管理が易しい、住民参加型のコミュニティ排水処理システム



粘土を触媒としたバイオマスの流動接触分解ガス化実証プラント



講師 **たなか なお**  
**田中 直** (特定非営利活動法人APEX 代表理事)

1976年、東京大学工学部卒業後、石油会社で石油精製プロセス管理、廃プラスチック再生、バイオテクノロジー、排水処理などの業務に従事する一方、1987年の設立当初からAPEX代表を務め、1999年より専従(代表)となる。理学博士。

著書に『適正技術と代替社会—インドネシアでの実践から』(岩波新書)、  
 編著書に『転換期の技術者たち』、『第三世界の問題を考える』(劉草書房)など。

日時 **2016年11月4日(金) 18:30~20:30** (18:15受付開始)

会場 **大阪市立総合生涯学習センター**  
 (大阪駅前第2ビル) 5階 第7研修室

参加費 **APEX会員 300円、一般 800円**

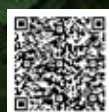


〒151-0066  
 大阪市北区梅田1-2-2-500

**アクセス**

地下鉄 御堂筋線・梅田/四つ橋線  
 西梅田/谷町線・東梅田  
 J R 大阪駅/東西線・北新地駅  
 私鉄 阪神電車・梅田/阪急電車・梅田

お申込み <http://www.apex-ngo.org/kokunai/semiosaka.html>



こちらのイベント詳細ページよりフォームを送信いただくか、APEX事務所(下記)まで直接お申し込み下さい。

背景写真: テガール市スレロック地区のコミュニティ排水処理施設